

WELCOME to the  
ranks of  
*Good Camera*  
*You...*  
owners

How to use

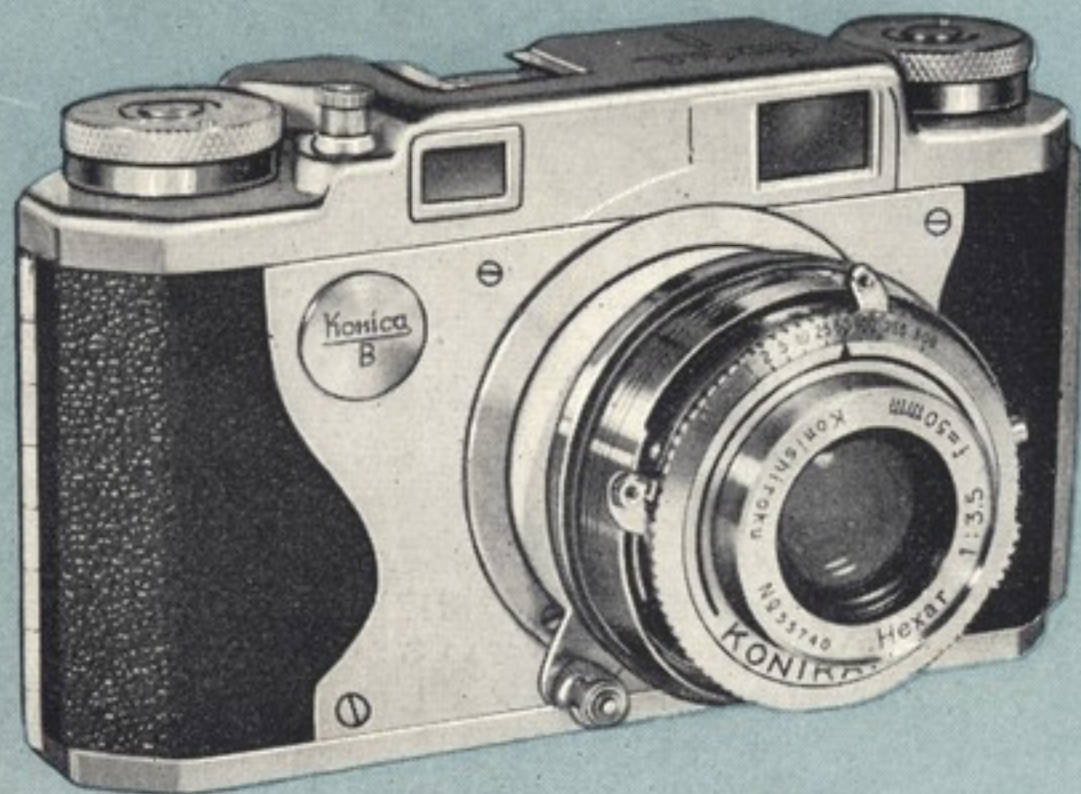
**Konica** **II B**

precision 35 mm camera

### **Konica** **II B**

新装高精度の35mmカメラ“コニ  
カII B”は他の如何なる高級カメ  
ラと比較しても、その性能に於て、  
いささかも遜色のないものです。

十分に研究されたレンズ、シャ  
ッター、距離計の装備されている  
コニカII Bはどんな条件の場所や  
時間に於ても、真に満足のゆく鮮  
鋭な写真を撮る事が出来ます。



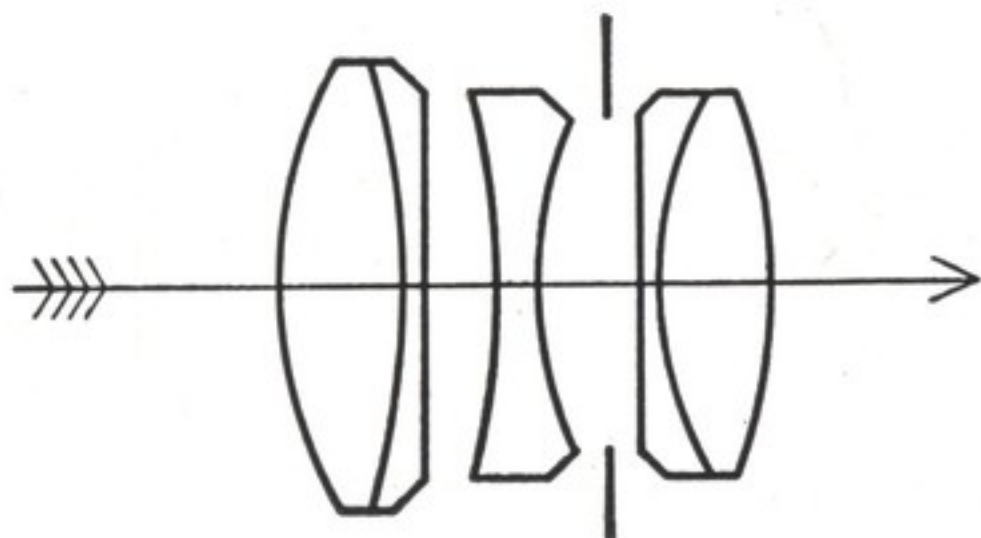
TOKYO KONISHIROKU JAPAN

## レンズ

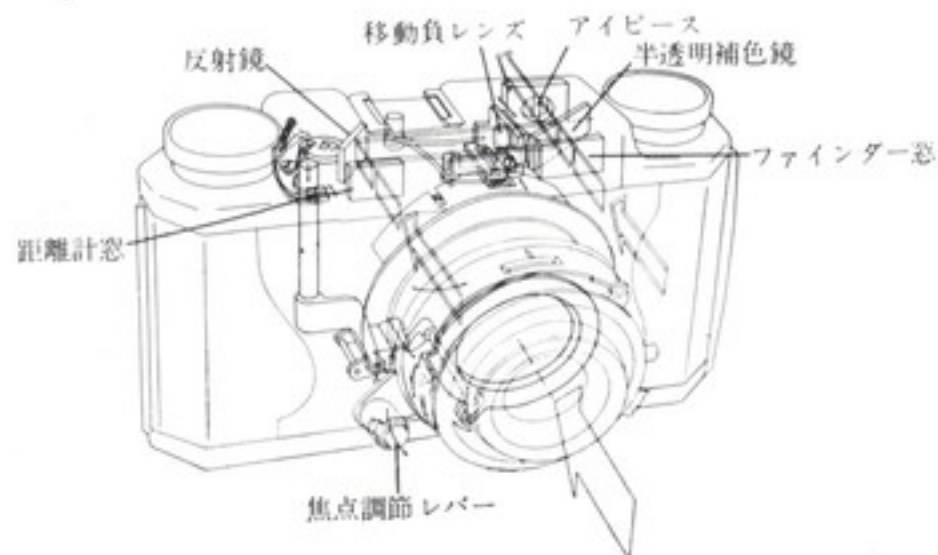
コニコート ヘキサー F2.8 50mm

コニコート ヘキサー F3.5 50mm

5枚玉構成のコニコートヘキサー・F 2.8 50mmレンズ及び4枚構成のヘキサー F 3.5 50mmは、中心部周辺部ともに極めて優れて優れた描写力をもち、画像のきり込みが実に見事で、スッキリした写真を得ることが出来ます。その上、ディストーション即ち像の歪が極めて少なく測量用としても使用することが可能です。又本レンズはアンバーコーティングしてありますから天然色撮影に使用した場合には、色のはみ出し無く、フレアー少なく周辺光量の大きいことと合せて、素晴らしい効果を発揮します。



## コニカの距離計はこのように働きます



撮影レンズを前後進させると直接に移動レンズが動いて光線の方向が変化します。



焦点が合わない時



焦点が合った時

## 距離計

コニカ II B の距離計は独特の単眼三重膜反射鏡式補色距離計です。二重像合致式距離計の半透明鏡には“補色鏡”が使用してありますから、増透、増反射効果のため視野が非常に明るく、二重像は完全な補色即ち黄色像と紫色像となって見えるのでそのズレが明確であり、合致した時には自然光となりますので判定が極めて正確容易です。

光学的及び機械的構造に特別な工夫が行われて居りますので、F2.8 レンズに対してもレンズとの連動誤差がありません。従って高精度のピント調整が可能であり、極めて鮮鋭な写真を撮影することが出来ます。

## シャッター

“コニカ II B” はコニラピッド-S シャッターが装備されて居ります。

コニラピッド-S は B, 1,  $\frac{1}{2}$ ,  $\frac{1}{5}$ ,  $\frac{1}{10}$ ,  $\frac{1}{25}$ ,  $\frac{1}{50}$ ,  $\frac{1}{100}$ ,  $\frac{1}{250}$ ,  $\frac{1}{500}$  秒の各速度を有するコンパタイプシャッターで、特に精度の良好なフラッシュガン同調装置が内臓されて居りますから、確実なシンクロ撮影が可能です。効果は極めて優秀でフォーカルブレン等他種シャッターを遙かに凌駕して居り、又ギヤその他の部品はすべて精密機械加工をほどこしたもので、精度と耐久力に於て特にすぐれて居ります。

## 専用マガジンの使い方

外筒のバネ①を指先で外方に持ち上げ、内筒の頭部のノブ②を指先にかけて内筒を右に約半回転、止る所まで廻すと外筒の内筒の窓③が一致します。それからスプールの頭部④を引上げると内筒とスプールは共に取出せます。

次に外筒・内筒・スプールを机上に並べ安全燈の下か又は全暗黒中でフィルムを取出します。フィルムの尖った方の端をスプールのバネ⑤の間に、膜面を下にしてスプールの矢印の方向に挿込み、バネから突出した先端は折返し、膜面に指をふれぬ様にして全部巻きつけてしまいます。フィルムの捲かれたスプールを頭部から内筒に挿入し、窓を合せて外筒に入れ、開いている窓からフィルムの端を拾い上げ、5 種位引出して内筒を左に半回転すると、窓は閉じて内筒上部の文字 C は外筒のバネ①の位置に来て止ります。これでフィルムはマガジンに装填されたわけです。

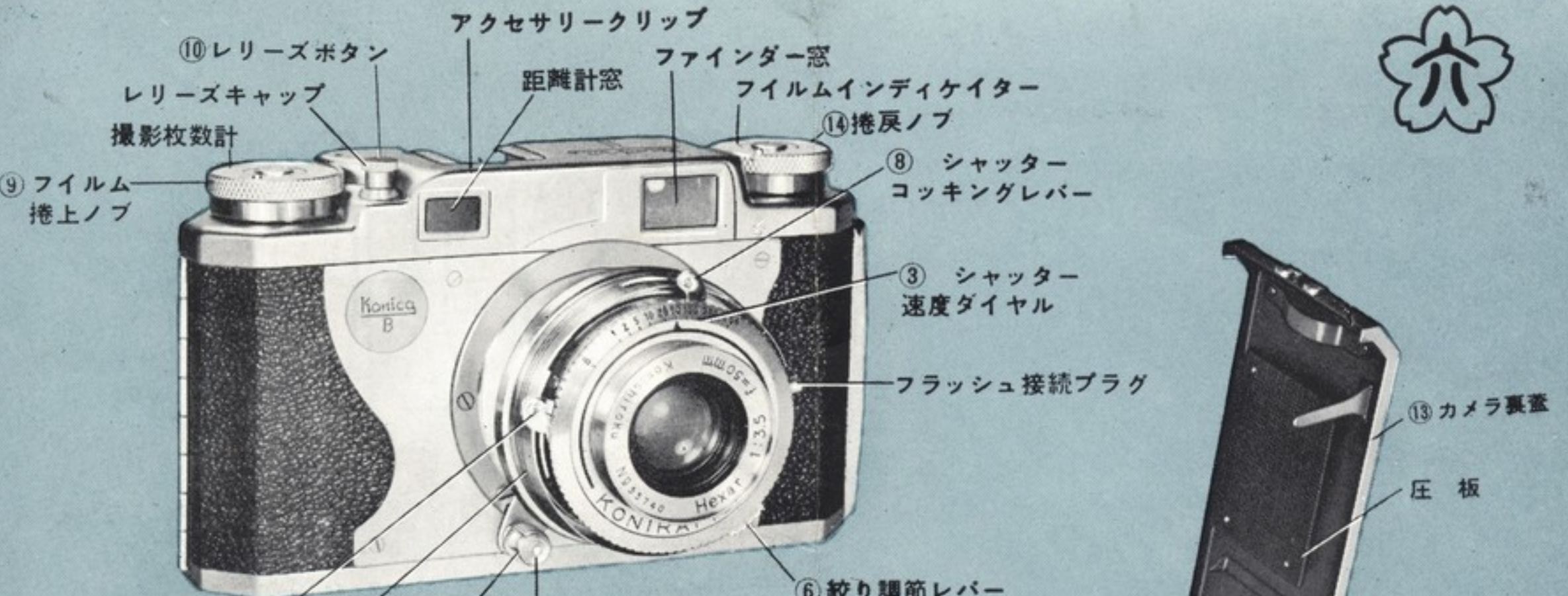
外に出たフィルムの端は 5 種位外に引出しておきます。

尚日中装填用（パトローネ）も勿論併用出来ます。

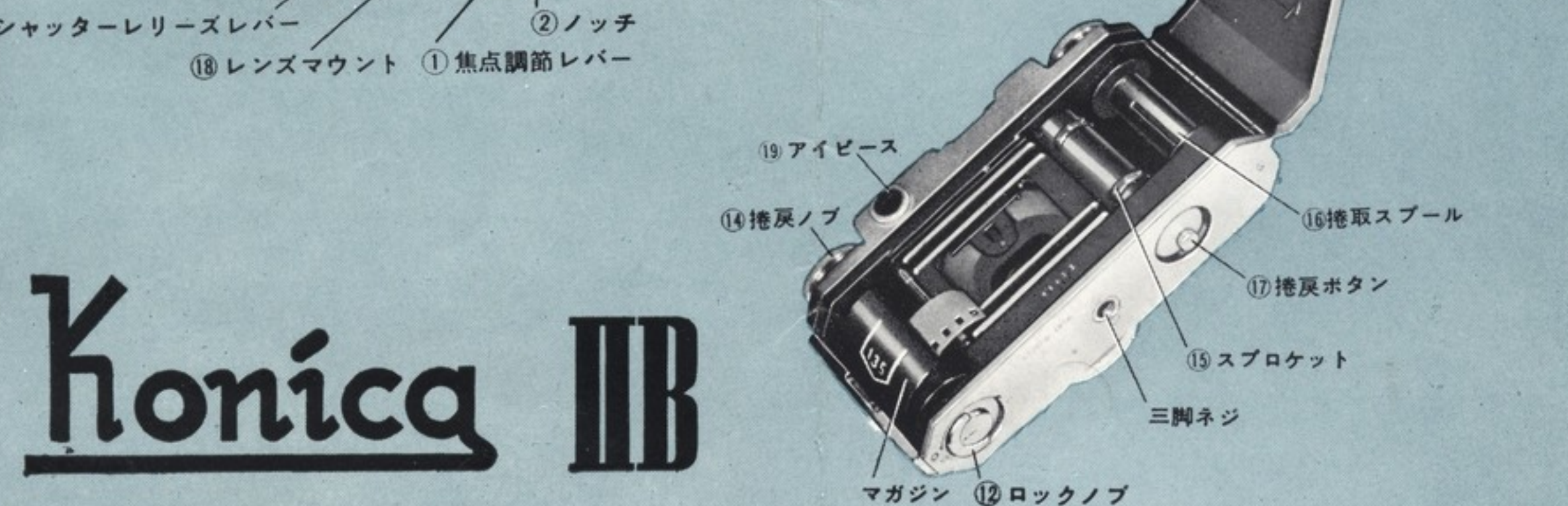


## 美しい写真はさくらフィルムで

さくらコニパン U S S   フィルム  
さくらコニパン S   フィルム  
さくら天然色   フィルム  
さくら反転   フィルム



- ⑩ リリースボタン
- アクセサリクリップ
- ファインダー窓
- 距離計窓
- フィルムインディケイター
- ⑭ 捲戻ノブ
- ⑧ シャッター  
コッキングレバー
- ③ シャッター  
速度ダイヤル
- フラッシュ接続プラグ
- ⑥ 絞り調節レバー
- ② ノッチ
- ① 焦点調節レバー
- ⑬ カメラ裏蓋
- 圧板
- ⑨ ファイルム  
捲上ノブ
- 撮影枚数計
- ⑤ リリースキャップ
- ④ シャッター  
レリーズレバー
- ⑭ 捲戻ノブ
- ⑮ スプロケット
- 三脚ネジ
- ⑫ ロックノブ
- マガジン
- ⑭ 捲戻ノブ
- ⑯ アイピース
- ⑮ スプロケット
- ⑰ 捲戻ボタン
- ⑱ 捲取スプール



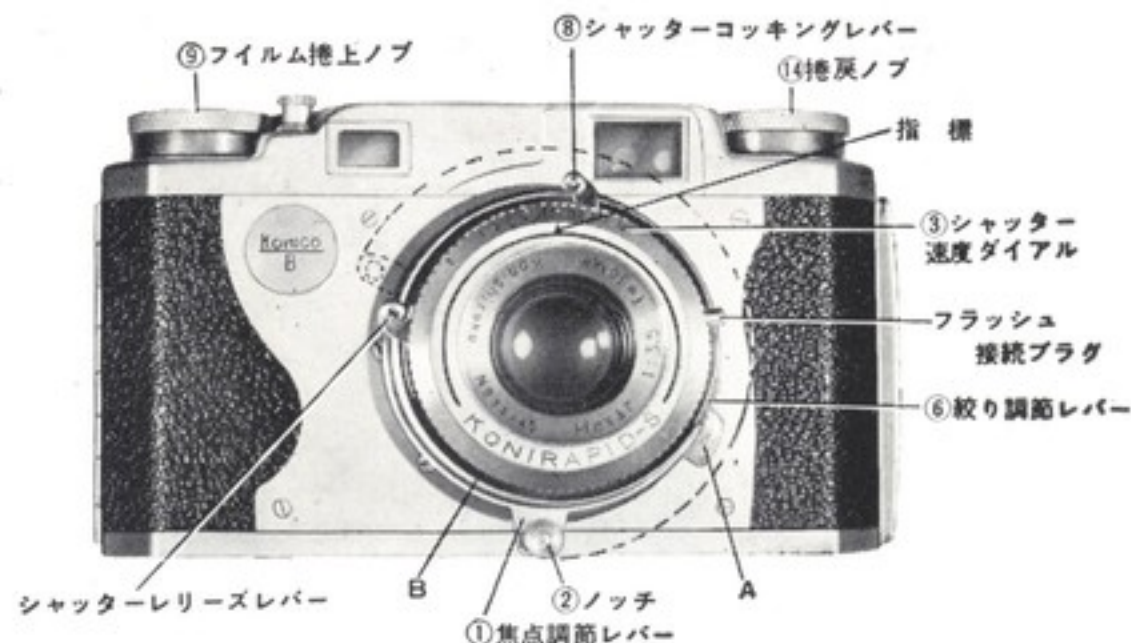
- ⑨ ファイルム  
捲上ノブ
- ⑭ 捲戻ノブ
- ⑮ アイピース
- ⑰ 捲戻ボタン
- ⑱ 捲取スプール
- ⑫ ロックノブ
- マガジン
- ⑮ スプロケット
- 三脚ネジ
- ⑯ アイピース
- ⑰ 捲戻ボタン
- ⑱ 捲取スプール

**Konica** **B**

## レンズマウントの繰出

焦点調節レバー(1)を図上時計の方向に回転すると、レンズマウントを繰出すことができます。調節レバーはB即ち最短撮影距離の位置の所で止り、それから逆の方向に回転しますとA即ち無限遠の位置で止ります。このAとBとの間が焦点調節を行う範囲です。

レンズマウントを繰戻すには、レバーの先端にあるノッチ(2)を上方に軽く指先で持上げて、レバーを回転しますとレバーはAの位置で止らず元の所迄回転して行くことができます。



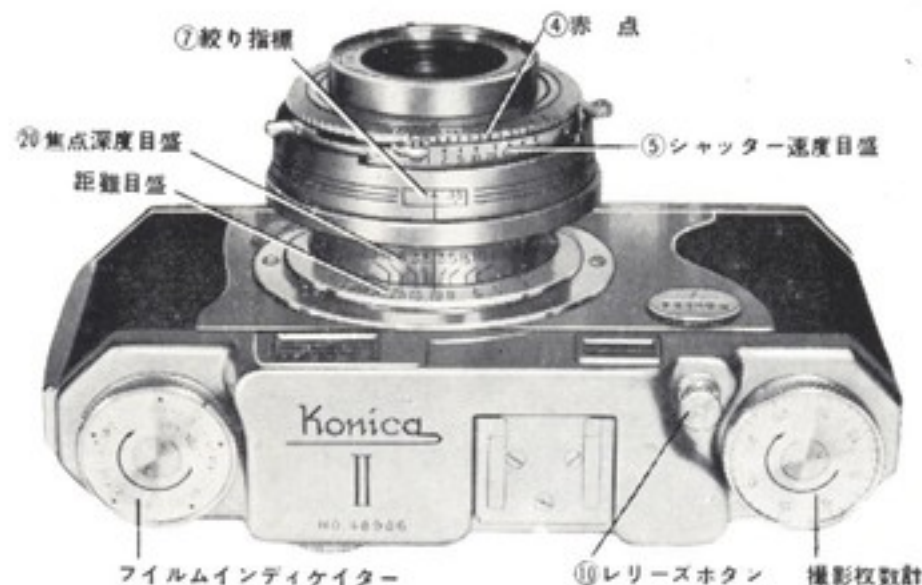
## シャッターの操作

シャッター速度ダイヤル(3)を回転し、ダイヤル上の数字を前面の指標に合せて、シャッターの速度調節を行います。又ダイヤル端面上の赤ボチ(4)をシャッター上側の目盛(5)に合せても、速度調節を行うことができます。

絞りの調節は、絞り調節レバー(6)をシャッター側面にそうて動かして絞りの文字(Fナンバー)を指標(7)に合せます。

シャッターコッキングレバー(8)を右方に止る所迄押上げると、シャッターをセットすることができます。

次に、フィルム捲上ノブ(9)を回転してフィルムを1駒捲上げ、ボディレリーズボタン(10)を押すとシャッターをきるすることができます。



## 二重露出防止

フィルムの捲上げとシャッターのセットとの両方を行わなければ、ボディレリーズボタンを押すことが出来ません。

## 安全装置

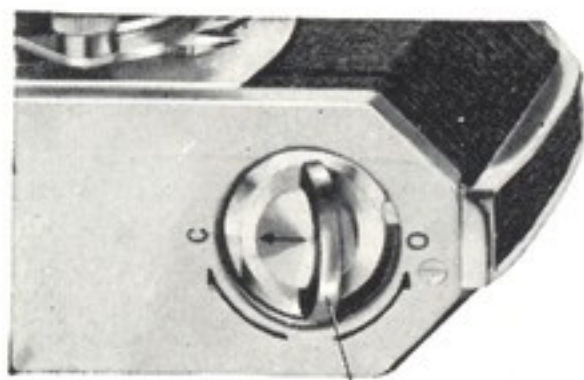
焦点調節の出来る位置迄レンズマウントを繰出さなければ、ボディレリーズボタンを押すことが出来ません。

## 裏蓋の開閉

図示のように、ロックノブ(12)を起し、回転して矢印をOに合せ、ロックノブをその方向に倒してその上から指先で押すと、カメラの裏蓋(13)は軽く飛び出します。

裏蓋を閉じるには、ロックノブを開いたときと同じ位置にしたまゝで裏蓋を少しく強く押すと、閉じることが出来ます。それからロックノブを起し前と逆の方向に回転して矢印をCに合せてからその方向に倒しておきます。

**注意** 裏蓋は、ロックノブの矢印をOの位置にして閉じ、裏蓋を閉じてしまったらロックノブの矢印をCの位置迄必ず回転して下さい。



⑫ ロックノブ



## フィルムインディケイター

捲戻ノブの上部に、パングロ、クローム、カラー、反転等の文字を記入したフィルム指示板が取付けられています。カメラに装填してあるフィルムの種類に従ってこれらの文字を外周上の指標に合せておきますと、カメラにフィルムが入っているかどうか、又はそのフィルムが何種であるかをメモしておくことが出来て、露出をきめたりするときなどに便利です。

## フィルムの装填

裏蓋を図示のように開き、捲戻ノブ(14)を充分外方に引出してから、マガジン(或いはパトローネ)の頭部を手前にし、窓を上部に向けて、フィルムチャンバー内に正しく落とし込みます。それから捲戻ノブを元の位置迄押込みます。

フィルムはマガジンから引出し、反対側にある捲取スプール(16)の溝にフィルムの先端を挿込み、パーフォレーション(フィルムの孔)をスプロケットの歯に合せながら捲取ノブ(9)を回転してフィルムをスプールに確実に1,2回捲付けます。

それから裏蓋を閉じ、さらにフィルムを2駒捲取ります。そして捲取ノブ上部の撮影枚数計を回転して目盛を0に合せておきます。

## フィルムの取り出し方

撮影枚数計の目盛が撮影後36(パトローネ入りフィルムの場合は20)になった場合、又はフィルムが捲けなくなったときは、フィルムが終りになったわけですから、無理して捲取ノブを回転しないでフィルムを捲戻しします。

捲戻ボタン(17)を押しながら捲戻ノブを矢印の方向に回転しますと、フィルムは元のマガジンに捲戻することが出来ます。フィルムを全部捲戻してしまったら裏蓋を開いて捲戻ノブを外方に引出し、マガジンを取ります。

# 撮

# 影

先ず焦点調節レバーを回転してレンズマウント(18)を繰出し、シャッター速度ダイヤルを回転してシャッター速度を合せ、絞りを調節してから、シャッターをセットします。拇指を裏蓋に当て、両手でしっかりとカメラを握ります。左手の中指又は人差指を焦点調節レバーに当て、左の眼でアイピース(19)から正しくファインダーを覗きながら、被写体の二重像が合致する迄焦点調節レバーを動かして距離調節を行います。それから構図をきめ、右手の人差指でボディーリリースボタンを静かに押してシャッターをきります。撮影が終了しましたら捲取ノブを回転してフィルムを1駒送っておきます。

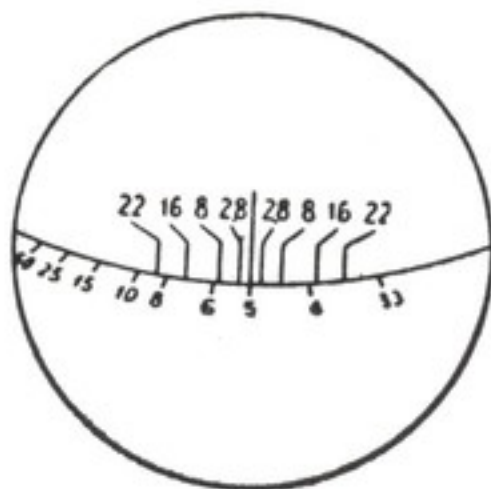
**注意 1** ケーブル・リリースを使用する場合は、リリースボタンのキャップはねじ込みになって居りますから、之を外し、ボタン内部のリリースねじにねじ込んで使用します。

**2** シャッターをきった後でシャッターボタンを押したまま、でレンズマウントを繰戻さないで下さい。

## 焦点深度

焦点深度目盛(20)は、図示のように、中央の指標で示された撮影距離での、各絞り(F値)の大きさに応じた焦点の合う距離の範囲を表示します。

次の焦点深度表はその範囲を正確に数字で示したものです。



コニカコーテッド・ヘキサ F/2.8 50耗焦点深度表(呎)

絞り F NO.	3.3	4	5	6	8	10	15	25	50	∞
2.8	3' 2" 3' 5"	3' 10" 4' 2"	4' 9" 5' 3"	5' 8" 6' 5"	7' 4" 8' 9"	9' 0" 11' 2"	12' 11" 18' 0"	19' 6" 34' 10"	31' 11" 116'	87' 10" ∞
3.5	3' 2" 3' 5"	3' 10" 4' 2"	4' 8" 5' 4"	5' 7" 6' 6"	7' 3" 8' 11"	8' 10" 11' 7"	12' 5" 18' 11"	18' 6" 38' 6"	29' 4" 171' 11"	70' 3" ∞
4	3' 2" 3' 6"	3' 9" 4' 3"	4' 8" 5' 5"	5' 6" 6' 7"	7' 1" 9' 1"	8' 9" 11' 10"	12' 0" 19' 8"	17' 11" 41' 10"	27' 8" 265'	61' 6" ∞
5.6	3' 1" 3' 6"	3' 8" 4' 4"	4' 6" 5' 7"	5' 4" 6' 10"	6' 10" 9' 8"	8' 3" 12' 10"	11' 4" 22' 6"	16' 0" 57' 2"	23' 6" ∞	44' 0" ∞
8	3' 0" 3' 8"	3' 7" 4' 6"	4' 4" 5' 10"	5' 1" 7' 4"	6' 5" 10' 7"	7' 8" 14' 6"	10' 2" 28' 8"	13' 11" 128'	19' 2" ∞	30' 11" ∞
11	2' 11" 3' 9"	3' 6" 4' 9"	4' 2" 6' 3"	4' 9" 8' 0"	6' 0" 12' 1"	7' 0" 17' 6"	9' 1" 43' 8"	11' 11" ∞	15' 7" ∞	22' 7" ∞
16	2' 9" 4' 0"	3' 3" 5' 3"	3' 10" 7' 1"	4' 5" 9' 5"	5' 5" 15' 11"	6' 2" 26' 11"	7' 9" 361'	9' 8" ∞	11' 11" ∞	15' 7" ∞
22	2' 8" 4' 5"	3' 0" 5' 11"	3' 7" 8' 6"	4' 0" 12' 1"	4' 10" 25' 5"	5' 5" 75' 2"	6' 7" ∞	7' 11" ∞	9' 3" ∞	11' 6" ∞

コニカコーテッド・ヘキサ F/2.8 50耗焦点深度表(米)

絞り F NO.	1.0	1.2	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	∞
2.8	0.97 1.03	1.15 1.25	1.43 1.58	1.87 2.15	2.71 3.36	4.22 6.13	7.28 15.99	26.46 ∞
3.5	0.96 1.04	1.14 1.26	1.41 1.60	1.84 2.19	2.64 3.47	4.07 6.50	6.82 18.81	21.18 ∞
4	0.95 1.05	1.14 1.27	1.40 1.62	1.82 2.22	2.60 3.55	3.96 6.79	6.53 21.52	18.55 ∞
5.6	0.94 1.07	1.11 1.30	1.36 1.67	1.75 2.33	2.47 3.83	3.66 7.93	5.73 40.06	13.28 ∞
8	0.92 1.10	1.08 1.36	1.31 1.76	1.67 2.51	2.30 4.35	3.28 10.61	4.85 ∞	9.32 ∞
11	0.89 1.15	1.04 1.43	1.25 1.88	1.57 2.77	2.11 5.52	2.91 18.42	4.07 ∞	6.81 ∞
16	0.85 1.23	0.98 1.56	1.16 2.13	1.43 3.37	1.86 9.04	2.45 ∞	3.21 ∞	4.71 ∞
22	0.80 1.35	0.92 1.76	1.07 2.54	1.30 4.55	1.63 21.86	2.06 ∞	2.57 ∞	3.45 ∞

# ACCESSORIES FOR YOUR KONICA CAMERA

## コニフラッシュ



コニフラッシュは特にコニカ用として設計され、小型軽量で、取扱いと携帯が極めて容易でしかも作用確実なフラッシュガンであります。テストランプによるフラッシュバルブの断線試験と同調回路の試験の出来ることと、標準プラグによる増燈のできることは、一層フラッシュ撮影の万全を期してあります。

## フィルターとフード



ネジ込み式のコニカ用コニフィルターは厳密な光学検査をしてありますから、撮影効果を十分に発揮することが出来ます。コニカ用のコニフードは外部からの反射光防止のため必要であり、特にフラッシュ撮影には是非必要です。

## フード・ケース

専用のフード・ケースが用意されています

## オートアップ



1米から50厘迄の接写用補助レンズで、距離計連動でお望みのものをクローズアップ撮影することが出来ます。

## コニカ接写装置

文書や絵画や花などを35耗の天然色やモノクローム・フィルムに複写するのに便利です。又教材や研究発表の自作幻燈画を作る等広範囲に利用されます。装置も使用法も極めて簡単です。

## さくら引伸機 120

最新式機構を有する集光式引伸機で写真を鮮鋭に引伸すことが出来ます。35耗から6×9判(名刺版)迄のネガティブより特に高倍率に拡大され引伸すことの出来る“さくら引伸機120”を御使用になることをおすすめ致します。

## 速写ケース

カメラの自在な速写性を発揮するためには是非必要なものであります。